

経済指標ウォッチャー

ドイツ景気は先行き改善するとの見通しが優勢

業種別の景況感は強弱まちまちの結果

ZEW期待指数、現況指数とは？

欧州経済研究センター（ZEW）が約350人のアナリストや機関投資家などの市場関係者に対して行ったアンケート調査結果をもとにドイツの景況感を示す指標。6カ月先の景気見通しを示す期待指数と、足元の景気動向を示す現況指数がある。同じくドイツの景況感を表すifo景況感指数よりも公表時期が早いため、ユーロ圏最大の経済規模を持つドイツの景気の先行きを占ううえで、注目される。0が景気の改善・悪化の分岐点であり、0を上回ると景気改善、0を下回ると景気悪化を示す。

ZEW期待指数、現況指数ともに改善

欧州経済研究センター（ZEW）が9月15日に発表した、2020年9月の期待指数は、77.4と前月の71.5から5.9ポイント改善しました。5カ月連続で指数は0を上回っており、ドイツ景気の先行きは改善するとの見通しが優勢になっています（図表1）。

現況指数はマイナス66.2と前月のマイナス81.3から15.1ポイント改善しましたが、新型コロナウイルス感染前の水準に遠く及ばず、厳しい状況が続いています。

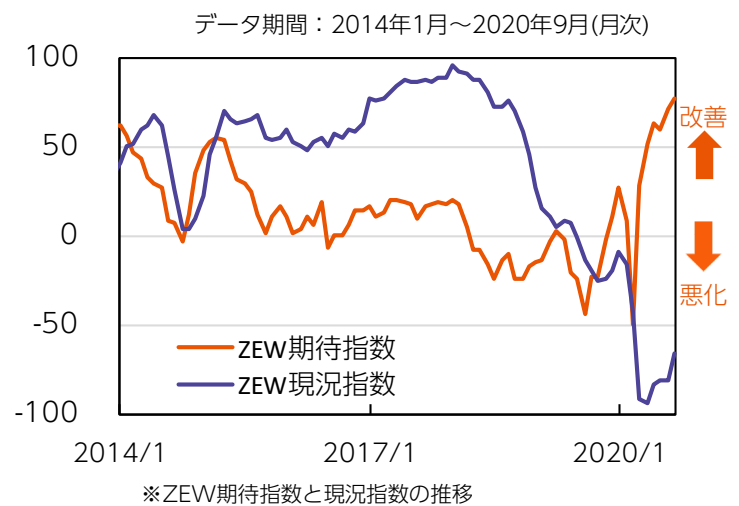
欧州での感染再拡大等を背景に足元のドイツ景気は低迷しているとみられるものの、先行きの景気回復期待は高くなっています。

業種別の景況感は強弱まちまちの結果

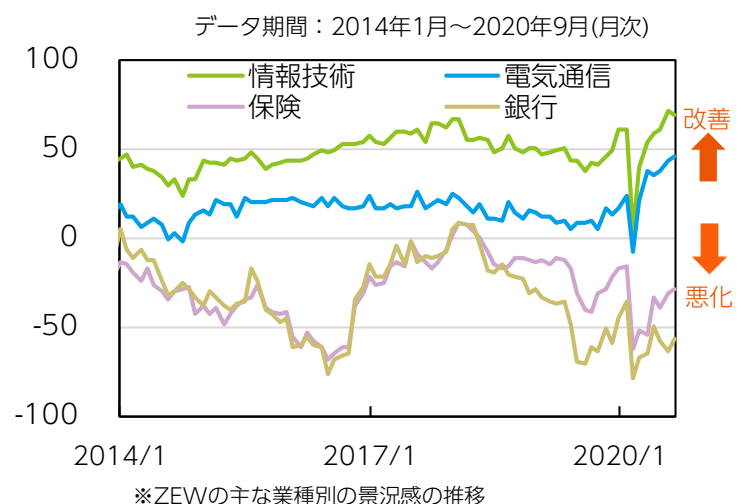
ドイツの主な業種別の景況感は強弱まちまちの結果となりました。ハイテク関連の堅調な業績等を受けて、情報技術、電気通信セクターは先行き大きく改善するとの見通しが優勢です。一方、融資のデフォルト(債務不履行)が増加するとの懸念から銀行セクターの悪化見通しは継続しています（図表2）。

ドイツ景気は期待指数の良好な結果からも今後は回復に向かうと考えられますが、業種別の景況感の一部には不安要素も残ります。ドイツ景気の先行きを改めて確認するため、24日に公表される調査数の多いドイツifo景況感指数にも注目が集まりそうです。

図表1：ZEW期待指数、現況指数ともに改善



図表2：業種別の景況感は強弱まちまちの結果



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>